

保健委員会

委員長 L平井英之

今年度も保健委員会では、例年のように、日本赤十字社の献血バスに協力しています。十二月までの六ヶ月間、伊香郡内では、献血車による巡回が十二回あり、受付数は、四八八人にのぼりました。そのうち献血いただいた人数は、四一二人で、献血量は、一七六・四リットルにもなりました。献血方法の内訳は、二〇〇ミリリットルが一三八人、四〇〇ミリリットル一七四人、成分献血が一〇〇人でした。

献血には、成分献血、四〇〇ミリリットル献血、二〇〇ミリリットル献血があり、四〇〇ミリリットル献血と二〇〇ミリリットル献血は、血液中の全ての成分を献血するもので、全献血と言います。成分献血は、成分採血装置を使用して、血液中から自動的に血漿や血小板といった成分だけを採取して、赤血球などの成分は再び体内に戻す献血方法です。成分献血装置を使用して血液中の成分を分離するので、献血に時間を要しますが、最も回復の遅い赤血球は再び体内に戻されるので、繰り返し献血してくださる人にも、身体への負担が軽い献血方法だそうでした。

当委員会では、十月十九日に「献血及び糖尿病予防キャンペーン」を行いました。献血は、成分献血のみで、十七名の受付で十六名の方に献血していただきました。糖尿病予防キャンペーンには、夕方から、



四十七名のメンバーに参加していただき、郡内の大型店や、街頭などで、ウロペーパーや冊子を配布し、市民の方に啓発しました。

現在、一年間に延べ約六〇〇万人が、献血に協力し、その血液は、輸血を中心とした医療を支えているそうです。人間の生命を維持するために欠くことのできない血液は、まだ人工的に造ることができず、長い期間にわたって保存することもできません。保健委員会の活動を通して、献血運動の重要性を再認識し、少しでも協力できればと思います。

環境保全委員会

委員長 L安井一清

この度、環境保全委員会を担当することになりました。何卒各所の御支援と御指導を賜ります様宜しくお願い致します。

本年度も委員会にて協議しました結果、公共施設等の建築予定もなく、又前年度より特記すべく引継ぎ事項もなかったため、例年通り琵琶湖畔の清掃奉仕とガバーナ方針に基づくクラブ会員一人一本植樹を行う計画をしています。

去る十月恒例の早朝清掃例会には小雨で足元の悪い中、国道八号線沿いの藤ヶ崎周辺を火ばさみとゴミ袋を手に空き缶、ペットボトル、発泡スチロール等のゴミの回収を行いました。数時間後には全員がゴミ袋一杯になり、心地好い汗を流し、有意義な

事業活動でした。その時に回収されたトラック一杯の不燃ゴミをL吉川に処分していただきました。毎年、ゴミの量の多さと回収できない粗大ゴミの不法投棄に驚かされますが、今や国内では不燃ゴミや産業廃棄物を投棄する場所がなくなり、海外で投棄されていたこ

エッセイ

犬死に

L駒井武司

五月の連休に大連・旅順・二〇三高地・水師営と旅をしてみました。数珠持参の海外旅行ははじめてであった。大連？旅順？と云っても知らぬ人が多いにはあらためて驚いた。海軍兵学校、陸軍士官学校と云っても又々。

二十歳前後の若い特攻隊員。一夜を女性と共に死にたい。と思つたと。終戦後旧制彦根中学校の同級生と杯をかわし話をした時のことが思い出される。何かと云えば軍国主義。日本の現状をよくいえば日米安保下の核の傘。実質はアメリカの属国。将来は某国の日本省、日本道、となるかも知れぬ。靖国神社、祖国、他国の顔色をうかがいながら。一度離陸すれば二度と着陸不可能の飛行機が作られた。八〇〇キロ爆弾を一、二ヶ搭載した。(九九式式軽爆には一ヶ・四式重爆には二ヶ)。

特攻隊として南溟に散つた多くの若人。今生存すれば小生と同年輩の人たち。現在の日本の状態をみるにつけ、こんな日本になるために死んで行ったのか。結婚一、二年で主人と死に別れ、淋しく一生を送つた老婆。この私の在宅患者みるたびになんともやるせぬ気持ちになることがある。



とが先日報じられていました。今後、益々ゴミ問題が深刻化していきますので、それに対処すべく名案があれば御教授願います。来たる三月には計画委員会と相談して新たに奉仕例会を予定したいと考えていますので、その節には会員皆様のご協力をお願い致します。

家族とスポーツ

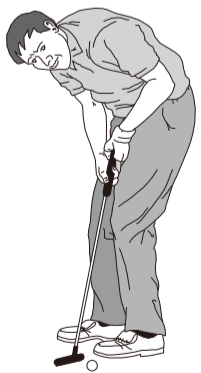
L安井一清

病院勤務から開業医を継承して早五年が経ちました。開業すると専門以外の幅広い医療を要求されますので、先ず診察・病診連携による情報交換の必要性を痛感しました。又、町医として健康診断・予防接種に参加し、産業医として地域事業所の安全衛生活動にも関わるようになり、勤務医の頃より大幅に仕事量が増えました。更に来年度から施行される介護保険制度に備えて、来月より認定審査が始まります。開業医は

複雑な意見書の作成から審査会への出動と益々忙しくなりそうです。診療の合間に医師会・学会・講習会に参加して医療行政の動向に目を向けたり、医療専門性の維持・向上に努めなければなりません。また他にも地元に戻ってくると、子供会、PTA、町内会等の評議員を任せたりして、より多忙な日々を送ることになり、生活のリズムが崩れてしまいます。

先日の医師会検診で生活習慣病である肥満と高脂血症を指摘されましたので、先ず早起きをして運動を心掛けるようにしました。朝、クラブの素振りなどをしてしていると、ノックして、お父さん！と息子がグロップとバットを持ってきたりします。約三十分程、野球をすると気分が晴れて心地好い疲れを覚えるのでした。

幼少の頃から内向的な性格でしたので、高校を卒業するまで運動部には属しませんでした。大学に入学して初めて運動クラブである野球部に入部しました。その新入生歓迎コンパで意識がなくなるまで酒を飲まされ、急性アルコール中毒で救急病院に入院して親に迷惑を掛けたことが思い出されます。そして最初の合宿でスライディングを失敗して右足骨折で二回目の入院となり



ました。その時になって運動音痴である自分が情けなく寂しい思いをしました。これは幼少の頃から運動をしなかったのが原因の一つであったのかと思われ、子供には健全な心身が鍛えられるようにとスポーツを勧めたいです。

現在、長女はテニス、息子たちは水球・少年野球クラブに属しておりますが、野球で十年振りに準優勝、水泳の郡体競技では五十、一〇〇M、二〇〇Mリレーで優勝と頑張っています。息子二人が少年野球に属しているため練習、応援、審判に努めて参加させてもらっていますが、回を重ねる毎に子供たちが生き生きと頑張っている様子を窺うことができ喜んでいます。ファミリーと楽しめるスポーツから始めようと、すなわちシーズンにはゴルフと野球練習をして、オフには家族でスキーを楽しもうと決めています。

少年野球を観戦していて子供がホームランを打った時の満足気な顔を見てるとゴルフでドラコンを獲った時の満足感に似ているのです。私の運動はゴルフですが、月二回のラウンドでは運動不足となりますので、今春より暇を見つけては近くのゴルフ打ち放し場や川原の空地に赴き、コースでプレイしているイメージを持ちながら練習しています。元々我流のスイングなので上達は望めませんが、ゴルフを始めてから徐々に外向的な性格になってきたと自分でも思っています。ゴルフは長く続けたいスポーツと思っていますが、最近、身体が硬くなってきて肩・腰が充分に廻らないので不安になっています。その為に腕に力が入り過ぎてくるのか？慢性のスライズ病に悩んでいます。

編集雀

木之本ライオンズクラブも今年は三十五周年というところで、五月の記念事業及び式典に向けて特別委員会の方々にはお世話になります。よろしくお願いします。

木之本LCがCNを迎えた年に生まれた人は今年で三十五才になられるわけで、人生の中でも三十五才と言えは仕事においても家庭においても一番大事な年代でもあらうと思えます。

木之本LCも三十五周年を迎えて、これから一番充実した時期に入っていく、また二〇〇年というミレニアム年に記念事業が出来る事は、とても有意義なことだと思います。その為にもメンバー全員が協力し合って素晴らしい事業になる様成功させましょう。

(L 中村喜隆 記)

- 広報情報会編集委員会
委員長 速水 五郎
副委員長 中村 喜隆
委員 榎本 博
武藤 清和
田辺 勉
担当副会長 平井与四次

